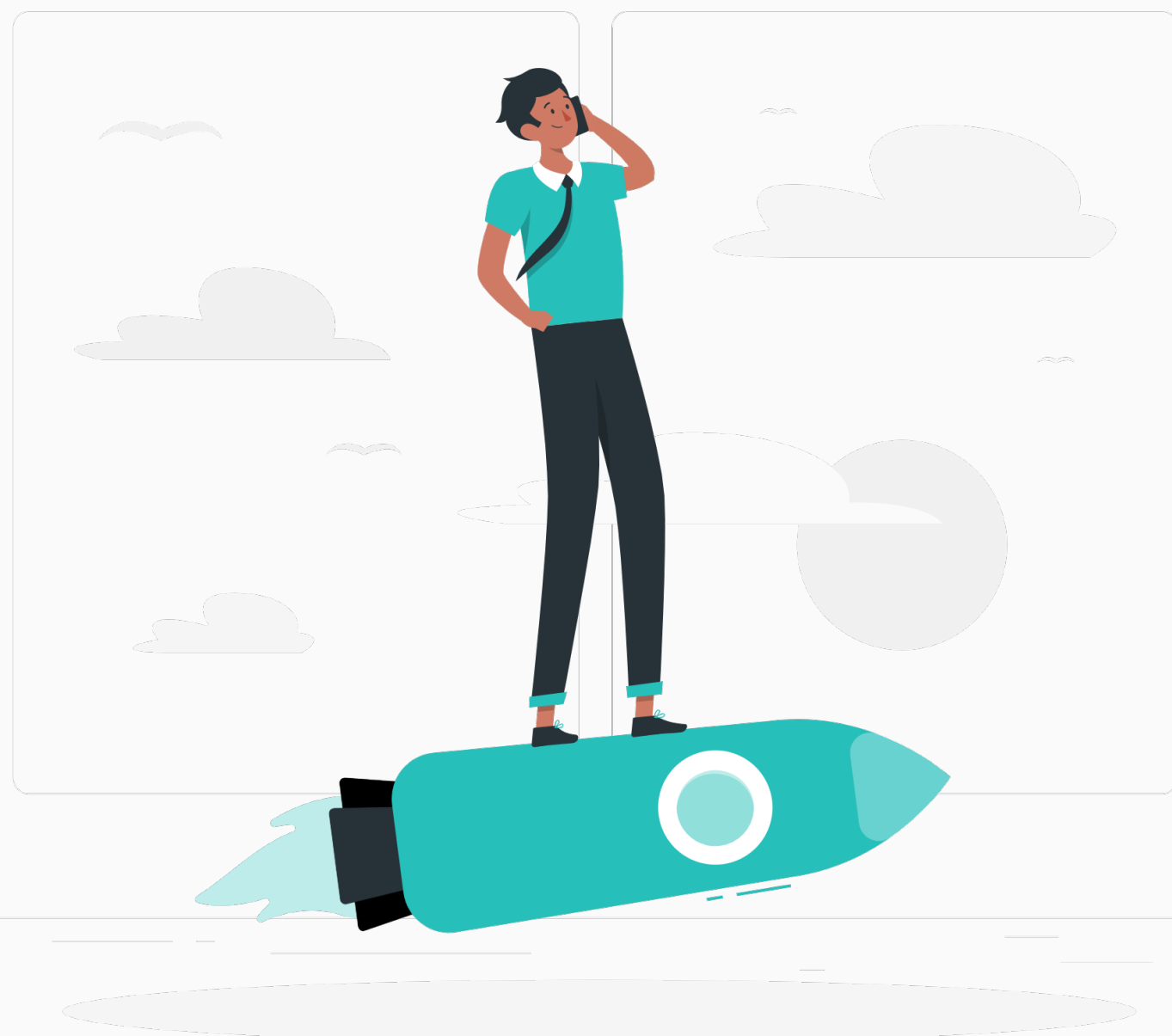
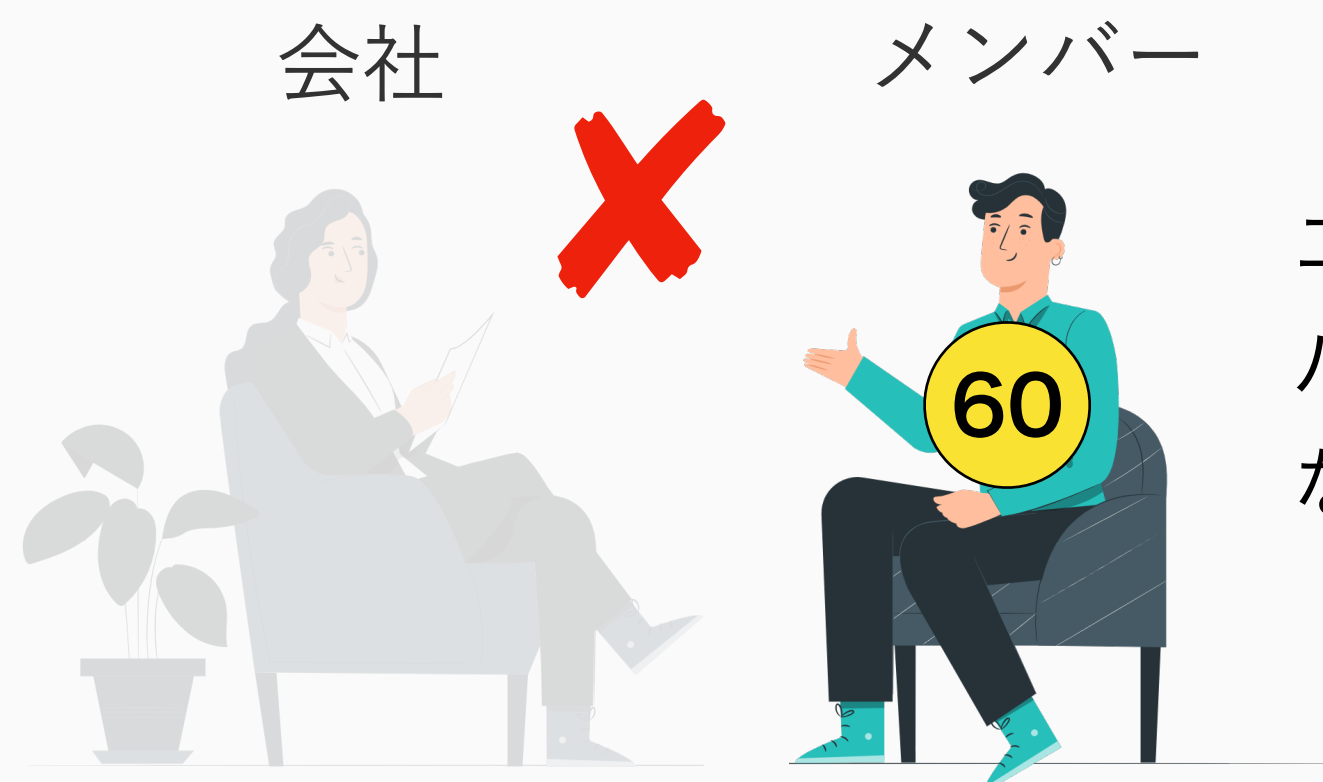


エンゲージメントとは何か？

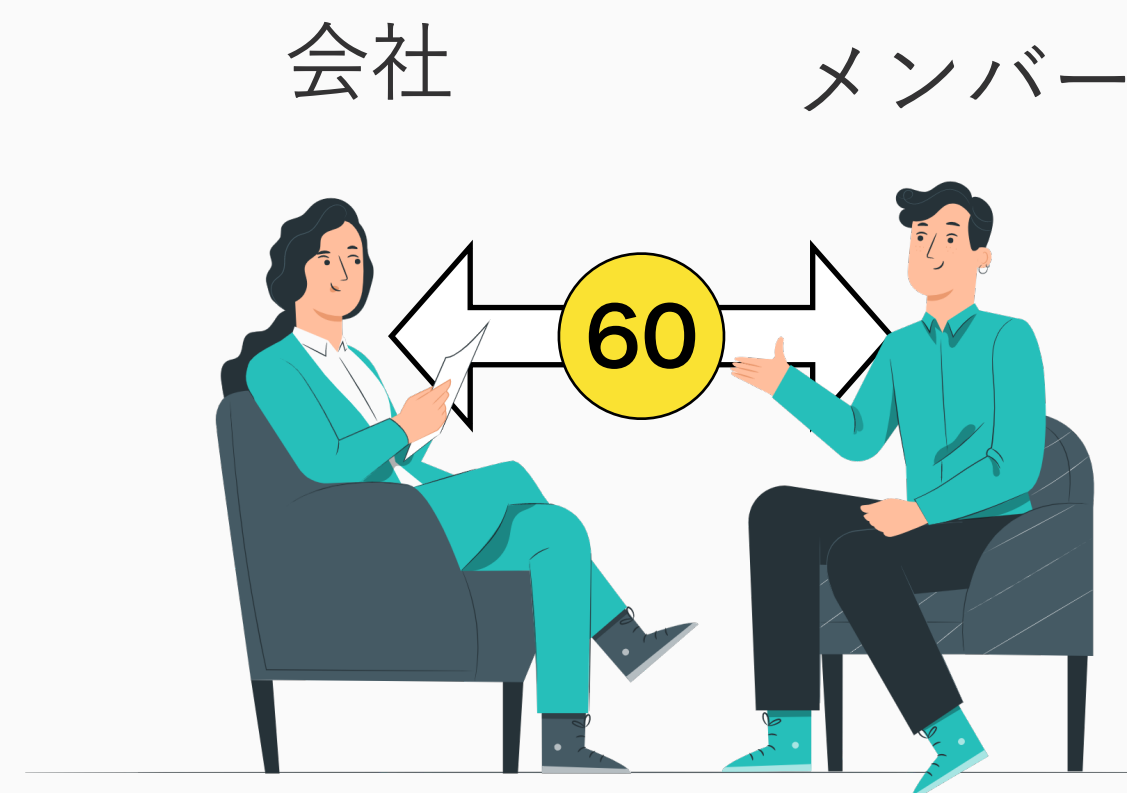
エンゲージメントの定義と解釈：関係性の数字=自分事として捉える



エンゲージメントは学術的には、「組織や仕事に対して自発的な貢献意欲を持ち、主体的に取り組んでいる度合い」を表します。



エンゲージメントの数値はメンバーが「持っている」数値ではなく、



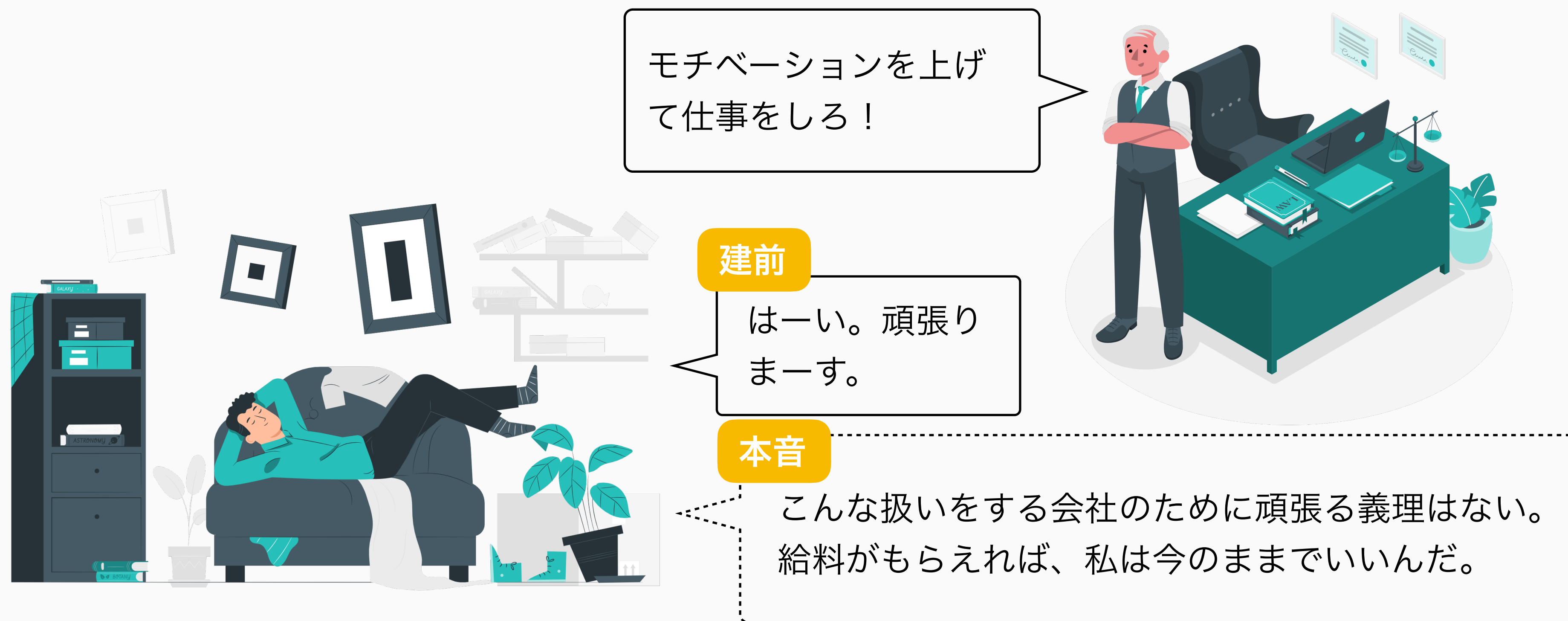
メンバーと会社の関係性を反映した数字と解釈するほうがより正しいでしょう。関係性が良好であるがゆえにその会社や職場に対して成果を出そうとする、貢献の数字と見てください。

🔗 エンゲージメントリングを使った例え

エンゲージメントを使う言葉としてはエンゲージメントリングが一般的です。会社と社員
の関係を夫婦関係にイメージさせるとわかりやすいかもしれません。

エンゲージメントの強さ	イメージ	夫婦関係	会社と社員の関係
強い		<ul style="list-style-type: none">・ 思い描く未来が一緒・ お互いに協力関係がある・ 信頼している・ win-winの関係である	<ul style="list-style-type: none">・ 思い描くビジョンが重なる・ 貢献し、それに報いる・ 心理的安全性が高い・ win-winの関係である
弱い		<ul style="list-style-type: none">・ 将来像が異なる・ 非協力的である・ お互いが信頼できない・ win-loseの関係かlose-loseの関係である	<ul style="list-style-type: none">・ ビジョンが重ならない・ 搾取しようとし、抵抗する・ 心理的安全性が低い・ win-loseの関係かlose-loseの関係である

モチベーションが低いのではなく、会社との関係を割り切っている??



モチベーションが低いと思っている人は、会社との長い間の関係性の中で信頼関係が築けていない可能性があります。そしてそれが会社との関係を弱くし、自分の働き方に見切りをつけている可能性があります。そのとき、建前では頑張ると言いながら、本音では抵抗をし、会社への貢献を拒否していることになります。

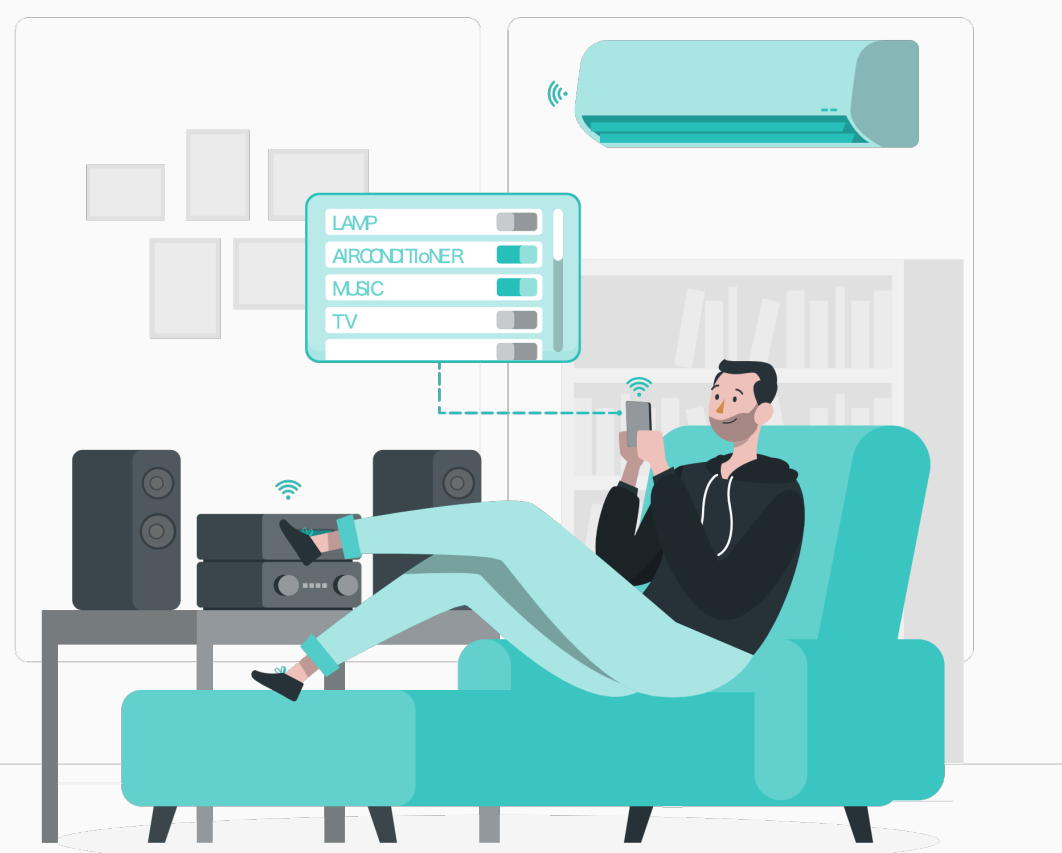
技術的課題と適応課題：適応課題だから答えがない

正しい知識があれば、確実に解決する問題を「技術的問題」といいます。一方で、知識を持っていても解決しないような問題は適応課題と言います。エンゲージメントの問題は関係性の問題、つまり適応課題です。答えがあると思っているとすると問題の捉え方が違っていると思ってください。

技術的課題

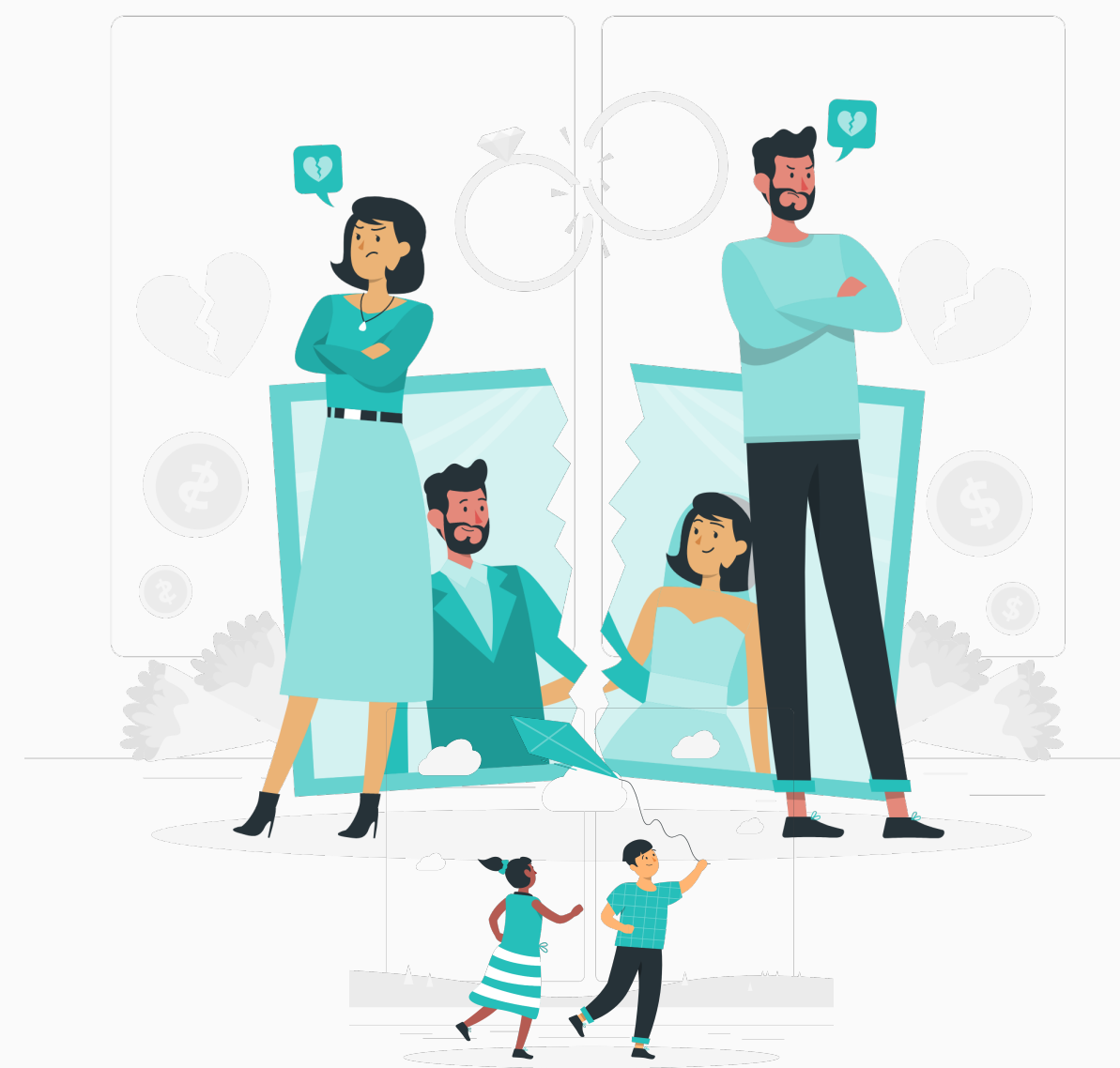


喉が渴けば水を飲めば解決する



部屋が暑ければエアコンを、音楽が聞きたければアプリで解決する

適応課題



夫婦で教育方針が違うことは、自分の価値観をぶつけても解消しない



部署間のすれ違い問題はお互いの正論を言ったところで修正できない